

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|----------------------------|
| 事業名 | 水害・地震液状化対策実践研修事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 諏訪市小川区 諏訪市豊田1702番地 |
| 事業区分 | (4) 安全・安心な地域づくり |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 454,638円 (うち支援金: 360,000円) |

事業内容

小川区は区内に二河川を擁するとともに諏訪湖に接する低地で浸水・液状化の危険度が高いため、区として浸水・液状化を想定した備えを整え、独自に取り組んでいる防災活動等と結びつけて逃げ遅れを出さず安全に避難が行える地域づくりに取り組んだ。

- ・水害の履歴を学ぶ防災講演会／ライフジャケット講習会の開催：8月29日 小川公会堂 28名参加
- ・ライフジャケット活用実践研修：10月17日 河川清掃・諏訪湖アダプトプログラム作業に合わせて作業者が着用 24名参加 (荒天のため規模縮小実施)
- ・ライフジャケット実戦投入：8月14日～15日の諏訪地域大雨災害時の災害対応に使用



【諏訪湖アダプトプログラム
水際作業の様子】
【目標・ねらい】

事業効果

- ①事業開始に先立つ関係者 (自主防災会役員等) への事業内容説明や防災講演会を通じて水害危険度の高い地域であることを学び、再認識できた。
- ②支援金を活用して指定避難所となる小川公会堂にライフジャケットを70着 (概ね災害対策本部構成人員数分) 配備できた。
- ③諏訪地域大雨災害時の災害対応にライフジャケットを実戦投入して使用したことや、講習会・実践研修の様子を新聞報道いただいたことで参加者はもとより本事業に関する区民の認知度が上がり、防災意識の向上に役立った。

- ①水害危険度の再認識
- ②ライフジャケットの一定数配備
- ③水害等を想定した防災・避難体制の構築と区民防災意識の向上

※自己評価 【 B 】

【理由】

- ・ライフジャケットの配備を予定通り完了。
- ・実際の着用人数は予定を下回ったが、ライフジャケットの実戦投入や事業内容の報道を通じて区民の防災意識の向上に寄与。

今後の取り組み

本年度は、事前説明会、実行委員会、事業実施後の活動検討会などを含め、延べ約100名が本事業への参加を通じて防災意識と実践力を高め、次年度以降、水害を想定した地域防災活動を展開するに際しての人的基盤となった。本事業は単年度で終わるものではなく、様々な活動や人材・資機材を追加して地域防災力を地道に強化する事業であることから、次年度以降は以下について取り組みたい。

- ア) 地震のみならず水害・地震液状化を想定した区防災訓練の計画と実施
- イ) 防災士を講師とした災害に関する区民向け講演会・研修会の実施
- ウ) 水害時に利用するゴムボートの購入など必要な装備の追加購入検討

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある